

絆

赤井むつみ後援会便り第38号

笑顔あふれる温かい町に！

2017年12月 発行



大変のお世話になり、ありがとうございました！

10月の選挙をはじめ、今年も本当にお世話になり、心から感謝しております。ありがとうございました。皆さまの温かく、力強い応援・ご支援のおかげで、議会活動を続けられ、会報も38号を発行する事ができました。でも、お伝えすべきことが十分でなかったり、わかりにくい内容だったり、まだまだ未熟ですので、皆さまからご指導をいただき、よりわかりやすく、少しでも役に立つ会報を目指しますので、これからもよろしくお願い致します。

3期目が始まり、本会議や臨時会、常任委員会と議会も動いています。役場では副町長とそれに伴う課長の人事異動があり、議会でも副議長と委員長が変わりました。

私は、文教厚生常任委員会と広報広聴常任委員会、そして今回から初めて議会運営委員会にも所属することになりました。

議会改革をしっかりと進め、町民皆さまと共に、より良い八雲町を目指していきたいと思っています。そのためにも情報共有は、絶対に欠かせないものですので、議会の映像配信の導入へ向けて働きかけ、町民皆さまとの一般会議や報告会&意見交換会などを積極的に行い、皆さまと共に課題の共有、課題の解決に向けて、全力で取り組みたいと思っています。

一般会議は、皆さまのご要望・ご都合に合わせて議会が出向きますので、遠慮なくいつでもお声をかけてください。また、議会広報の最終ページ『耳をすまして』のコーナーでも、取材を受けて下さる方を大募集しておりますので、どんどんお声をかけていただけたら嬉しいです。お友達、サークル、ご近所問わず、どんな集まりでも結構ですので、是非、よろしくお願い致します。



2017年もあと少しとなってしまいました。今年は皆さまにとってどのような年でしたでしょうか？私にとってはニュースを通じて、命の重みを改めて考えさせられる年でした。幸い八雲町では重大事件などありませんが、2018年は、一人ひとりがもっと大切にされ、お互いに支え合い、安心して過ごせる町。それぞれの力と知恵を出し合い、元気と笑顔があふれるまちを目指し、全力で取り組みたいと思っています。

一般質問

問1 『農業の良さを広めよう!』

八雲町は1次産業を大切に守り育ててきた結果、畑作では軟白ネギや餅米、レタス、ジャガイモ、豆類などいろいろな野菜が出荷されています。そこで、更に農業の良さを知ってもらおうと共に、地産地消ができる仕組みを作り、健康作りや食育・教育にも役立てることが出来ないかと思い、次の事を提案します。

- ①高齢者の方が趣味や健康作り、生きがいのため作っている野菜を、もっと活用しよう!
- ②農業の力を、食育や教育と共に子ども達にも伝えて行こう!

答 『意義があると認識している』

- ①高齢者福祉対策、地域コミュニティ対策として、地域の団体や組織と連携し、複数の課で具体的な仕組み作りを検討。その内容については、これからまた皆さんに説明をしながら、報告する。
- ②食育には取り組んでいるが、今後も教育関係機関や学校及び生産者など、農業関係団体と連携しながら食育の取り組みについて検討し、情報発信や機会の提供方法など、情報共有に努める。



問2 『今、安心して生活できる環境を!』

熊石泊川、相沼、折戸地区の皆さんが、函館バスで総合病院に通うとしたら、1日2便なので、朝7時に乗っても、帰りは19時近くとなり、具合の悪い方には利用しにくい状況です。また、これらの地域にはお店もなく、車がなければ買い物もできません。運転免許を返納しても、公共交通が無かったり、不便だと買い物や通院が出来ず不安が残るだけです。20年後30年後を見据えながらも、今困っている方たちへの対応も、早急にすべきではないでしょうか?

答 『関係者による協議会を作って対応する』

人口減少や高齢化が進んでいく中で、八雲町全体として高齢者の移動手段の確保は、大きな課題であると認識している。今後、八雲町にとって、望ましい公共交通のあり方について、議論を進めていかなければならないと考えており、行政、公共交通事業者や、利用者などで組織する協議会を作って、国の制度を活用しながら、地域公共交通網形成計画を策定し、対応したいと考えている。今、困っている方に対応していくというのが行政だと思っている。立地適正化計画は29・30年度の2カ年で策定するので、これとのからみもあり、協議会を立ち上げてこの交通体系計画作りを始めるのが正式には31年だけれど、早急に内部で議論をしながらどんな形ができるのかということも、やっていきたい。また、立地適正化計画は八雲町内のことだけなので、落部や熊石も含めた全体のことにも取り組んでいきたい。



立地適正化計画って? 立地適正化計画は、人口が減少に転じ、高齢者の急速な増加が見込まれる中ではコンパクトなまちづくりを形成することが重要との観点から設けられたものです。「居住誘導区域」と「都市機能誘導区域」が定められます。

12月定例会より主な報告



- ★町長・副町長・教育長の特別職に通勤手当が支給できることになりました。
- ★少子化により園児数が減少しているため八雲町立相沼保育園及び八雲町立熊石保育園の定員を減らしました。相沼保育園 45人⇒20人 熊石保育園 60人⇒25人
- ★独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構に対し、育成牧場近辺の町有地を無償で貸付けを行い、トンネル工事で出た安全な土で土地改良を行うことになりました。
- ★八雲町育成牧場は、平成30年4月1日から平成35年3月31日まで指定管理となります。指定管理者は、株式会社O・G・A（北里大学のベンチャー企業）です。
- ★一般会計補正予算9,194万9千円を追加し、総額142億505万5千円となりました。主な内容は、ホタテ養殖漁業機器等整備事業補助金：1,240万円、ホタテ養殖関連施設強靱化対策事業費：1,000万円です。また、国保会計は、一般被保険者療養給付費や高額療養費の増などにより、9,366万3千円の追加を行っています。

文教厚生常任委員会より



- ☆総合病院より、10月末現在の29年度決算見込みの報告がありました。
入院収益・外来収益共に28年度を上回り、49億4,155万2千円の収益となる見込み、給与費や材料費等支出も昨年を上回る見込みであり、支出総額が54億7,414万4千円となり、5億3,259万2千円の赤字となる見込みです。
- ☆総合病院では1コイン検査が実施されます。
糖尿病・動脈硬化・腎機能・貧血・肝機能・痛風の6つの検査が、それぞれ500円で行われます。平日午後3時以降5時までなら、予約なしでOKです。
- ☆国保病院より、10月末現在の29年度決算見込みの報告がありました。
入院・外来収益は昨年より少し減り、8億6,604万8千円、給与費や材料費などの支出も減りましたので、6,381万5千円の赤字となる見込みです。
- ☆教育委員会より、経済的な理由で就学に支障をきたす方を対象に、新入学児童生徒学用品費の支給を3月中旬に支給するという報告がありました。支給が早まり、入学準備に間に合っただけだと思います。支給額は小学校40,600円、中学校47,400円です。
- ☆保健福祉課から、28年度の健診・検診状況の報告がありました。ガン検診の受診率は、肺がん：11.6%、胃がん：6.2%、大腸がん：12.2%、乳がん：7.2%、子宮がん：6.0%でした。
早期発見により、早期回復も見込まれますので、皆さんには積極的に検診を受けてほしいと思います。是非、ご家族お誘いあわせの上、みんなで受けるようにしましょう！料金も安いですし、いろいろなアドバイスもあり、受けなきゃ損ですよ！
地元には病院があると、いざという時に本当に助かります。是非、地元の病院を大いに利用してください。健康が一番ですが、もしもの時は地元の病院にご相談を！皆さまの大切な税金も投入されていますので、大いに頼ってください！

2018年は成年！

2017年の流行語を見るとなんとなく世相がわかりますね。『忬度』『Jアラート』『魔の2回生』『睡眠負債』『プレミアムフライデー』『OOファースト』『フェイクニュース』etc. プレミアムフライデーも、テレビのニュースで乾杯している場面や、小旅行に出かける場面が放送され、こんなことが出来る職場もあるのかと、感心してしまいました。でも、私達の周りにはほとんど関係のないことで、週に1度のノー残業デーを実践するのもぎりぎりという厳しい状況です。でも、2018年は職員のライフワークバランスを考えなくては！

2018年は成年。成年の特徴は勤勉だそうです。個人や特定の方たちの忬度をすることなく、町民一人ひとりが幸せを実感でき、元気で笑顔いっぱい八雲町を目指し、まじめにコツコツと努力をしていきますので、2018年もよろしくお祈いします。



お知らせ！

☆2月10日(土) 10時～14時30分 シルバープラザで『木で遊ぼう！』という木育事業があります。木で小さい椅子やカバン、ストラップなどを作ったり、積み木や木のボール、餅つきなど、小さい子から大人まで、みんなが楽しめる内容になっておりますので、是非、参加して下さいね！木のぬくもりや素晴らしさをたくさん実感できますよ。議会の林活議員連盟として、餅つきを担当しますので、皆さまのお越しをお待ちしております！
☆今まで3月に行った議会報告会は、今回は7月に行う予定です。意見交換会が中心になると思っていますので、積極的に参加していただけると嬉しいです。具体的に日程や会場が決まりましたら、再度お知らせいたします。

感謝感謝です！

10月の選挙では、町民有志による『フリートークの会』を開催して下さい、なぜ立候補したのかということを直接お話をさせていただき、更には、立会演説会でも多くの皆さまと意見交換をさせていただくことができました。おかげさまで、皆さんと課題共有が出来、解決に向け共に取り組めることを本当に嬉しく、心から感謝しております。



赤井むつみ後援会連絡先 八雲町住初町126

FAX=62-3632 電話=080-5588-2090 (赤井)

赤井自宅 栄町56-12 (栄町3区) ☎ 63-2090

ホームページは「赤井むつみ」で検索してください！